

新しい医薬品工程管理技術 Process Analytical Technology (PAT)セミナー

PAT は 2001 年 7 月に FDA Science Board Meeting の諮問委員会である Advisory Committee for Pharmaceutical Science で最初に議論され、現在、業界や学会において PAT への関心が高まっております。日本の製薬業界の将来を考えると、世界に対して高品質の薬を供給し、産業の世界的競争力を維持するため PAT の意義を十分に知る必要があります。Process Analytical Technology (PAT) セミナーを開催いたしますので、奮ってご参加下さい。

記

1. 日時： 平成 15 年 7 月 4 日(金) 午後 1 時～5 時
 2. 会場： 千葉大学けやき会館大ホール (千葉市稲毛区弥生町 1-33
JR 西千葉駅徒歩 6 分, 京成みどり台駅徒歩 5 分)
 3. プログラム (講演時間は質疑応答を含め 50 分を予定)
 - 13:00-13:05 開会挨拶
 - 13:05-13:55 小嶋茂雄 先生 (国立医薬品食品衛生研究所)
「医薬品の品質管理における PAT の活用
- 欧米の活発な動きに我が国はどうか対応するのか? - 」
 - 13:55-14:45 水田泰一 先生 (塩野義製薬株式会社)
「PAT の現状と課題」
 - 14:45-15:05 休憩
 - 15:05-15:55 山田 哲 先生 (大塚製薬株式会社)
「Process Analytical Technologies
- 欧米の例に見る製造・品質管理新手法の概要 - 」
 - 15:55-16:45 神谷明良 先生 (ファイザー製薬株式会社)
「ファイザー社における PAT の試行例」
 - 16:45-16:50 閉会挨拶
 4. 参加費：資料代として 企業関係者 3,000 円、大学・官公庁関係者 1,000 円
懇親会：会費 2,000 円 (薬学部講堂, 17:15 より)
参加費・懇親会費は当日支払いとなります。
 5. 申込方法：Fax または E-mail で氏名・所属・連絡先(メールアドレスも)・懇親会参加の有無を下記にお知らせください。(6 月 30 日(月)締切)
 6. 連絡先：
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
千葉大学大学院 薬学研究院 製剤工学研究室
(山本恵司, Tel: 043-290-2937, Fax: 043-290-2939)
E-mail : yamamotk@p.chiba-u.ac.jp
-

主催：千葉大学大学院薬学研究院製剤工学研究室

共催：ISPE 日本地域本部, 製剤機械技術研究会, 日本製薬工業協会, 日本 PDA(50 音順)